



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年7月30日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

ラグビー日本代表として闘うディアンズ選手の素顔

30日(日)＝1、3面

迫る



9月8日にラグビーのワールドカップ(W杯)フランス大会が開幕します。ニュージーランド(NZ)出身のワナー・ディアンズ選手(21)＝写真＝も日本代表のメンバー入りを目指している一人。200センチ超えの長身がひときわ目を引き、ポジションは攻守の要であるロックを任されています。

英語と日本語を話せるディアンズ選手は、日本選手と海外出身選手が混在する代表チームで、コミュニケーション

ン能力を発揮することも期待されています。

NZ代表に憧れていたディアンズ選手は、なぜ日本代表を選んだのでしょうか。その決断に大きな影響を与えた選手がいました。直接会って話を聞くうちに若いラグーマンの心は固まっていったのです。目標とする選手とは？

日本文化にも挑戦してきたディアンズ選手の素顔に迫ります。

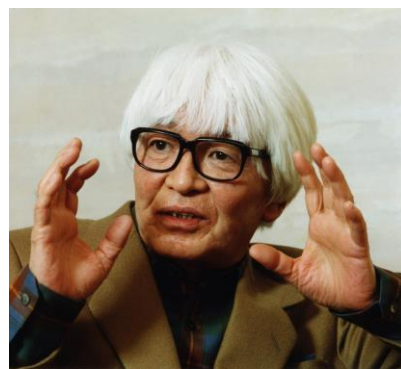


消防団とは？ ～誕生の経緯と今後の課題～

30日(日)＝総合面

自然災害が相次ぐ中、地域に密着した消防団の役割が注目されています。常勤の地方公務員である消防職員と違い、普段は別の仕事をしながら、火事などの災害があれば職場や自宅から現場に駆けつけ

るのが消防団員です。ただ、少子化や若者の価値観の変化などを背景に、成り手は年々減っています。消防団はなぜ生まれ、どのような課題があるのかを探りました。



論点 司馬遼太郎生誕100年

歴史小説家の司馬遼太郎氏
II 写真IIの生誕から今年で100年を迎えます。歴史上のさまざまな人物を描き、「司馬史観」と称されるほど、日本人の歴史観に大きな影響を与えた司馬氏が日本社会に残

8月2日(水) II オピニオン面

したメッセージとは何でしょうか。そして、混迷の時代を迎えた今、私たちは司馬作品をどう読み解けばいいのでしょうか。社会学者の大澤真幸さんと、慶応大教授の片山杜秀さんが論じます。

特集 ワイド

小沢一郎氏を突き動かすものとは

8月3日(木)＝夕刊2面



御年81歳で政界最古参の立憲民主党、小沢一郎衆院議員が「野党候補の一本化で政権交代を実現する有志の会」を発足させるなど次期衆院選に向けて精力的に

動いています。インタビュー取材に応じた小沢氏は「(泉健太代表が掲げた目標の)150議席で本当に政権を取れるのか。万年野党だった社会党よりひどい

と話しています。小沢氏を突き動かすものは何なのか、また3度目の政権奪還に向けた戦略についても聞きました。

竹橋の窓から

編集後記

社会人野球の祭典・都市対抗野球大会が25日に幕を閉じましたが、8月1日からは少年野球の祭典、「くりくり少年野球選手権大会」が開幕します。「天才バカボン」で知られる漫画家の故赤塚不二夫さんがキャラクター「デカメ」をデザインしたこの大会。今年で45回目を数え、都市対抗開催中に初めて東京ドームで開会式も行いました。子どもたちが白球を追う姿が待ち遠しい！ぜひご注目ください(都築葵)

